

石巻市心の復興事業 交付決定団体一覧

単位:円

番号	申請団体 事業名	交付決定額	事業概要
1	一般社団法人りとりと こみゅぱんマイスターの育成と地域住民の幸福度を上げる交流事業	700,000	心のケアにつながるパンづくりやそれぞれの強みを生かし、対話を通じ互いの思いを共有しながら、引き続き被災住民の幸福度をあげられる人材の育成と来年度以降も継続的に活動を実施する体制の確立、ネットワークの構築に取り組む。
2	特定非営利活動法人こころの森 石巻南浜復興祈念公園の青空の下、地域住民のこころの復興事業	700,000	石巻南浜復興祈念公園の青空の下、石巻市内の被災者(災害公営住宅に住む人々、子育てファミリー、高齢者)等を対象に、定期的にこころのケアのお茶会を開催する。コミュニティガーデンカフェ事業として、地域住民にランチ、ドリンクを提供し、ガーデンを眺めながら花緑に癒されるひとときを過ごしてもらう。本事業を通して地域住民との交流を図り、こころの復興を実現することが目的である。
3	特定非営利活動法人 MAKE HAPPY 緑と花の彩りで繋ぐ心と森の再生事業(復興祈念公園)	700,000	復興祈念公園が本格的にオープンしてから数年経過した。震災による転居、コロナ禍による行動自粛、そして物価高騰や世界の情勢の悪化等により、社会全体の不安を抱いている方々に本事業への参加を呼びかけ、公園を彩るために、花壇の手入れや苗木など植物のお世話を日々参加することで心身のケアに繋げる。また、植物だけでなく音楽や料理などの企画を通じて、南浜津波復興祈念公園と植物を通じて心の安らぎと前向きになるきっかけを作る。
4	東北駆け込み寺石巻ハウス 「たった一人のあなたに寄り添う」心の復興事業	555,000	私たちは、震災後から開成地区、渡波地区の仮設住宅や松並、八幡町などで被災者支援を行ってきました。その後、被災者は災害復興住宅などに移りましたが、以前より孤立化、分断、高齢化が顕著になりました。そこで、更なる被災者支援事業展開のために令和3年に任意団体「東北駆け込み寺石巻ハウス」を立ち上げました。被災された方を、だれ一人取り残さないために「たった一人のあなたに寄り添う」をモットーに、寄り添いと対話による心の復興事業を行っていく事を目的とします。
5	一般社団法人コミュニティスペースうみねこ 楽しい地域作り	800,000	石巻市井内東部地区を中心に、震災後、移住してきた方、震災前からお住まいの方の交流の場づくりを目的とします。内容として、ワークショップやイベントなどを開催し交流の場を作ります。また、バスを利用してお出かけ、ふらっと来て楽しめる、見て笑える猿回しの公演なども取り入れて行きます。
6	一般財団法人まちと人と 被災者と多様な世代の未被災者が対話により、震災から15年目の歩みを振り返り、心の復興と未来への歩みを進めるためのプログラム	900,000	「被災者」と「多様な世代の未被災者(震災を知らない者、震災を体験していない者)」の対話の場を創出することで、地域の復興の歩みや未来に向けた思いを共有し、互いの理解と共感を深めることで人と人、人とまちのつながりづくりを行い、「被災者の心の復興」と「共に支え合う地域づくり」を目的とした取り組みを行う。また、震災から時間が経過して賑わいが戻る一方で、当時を知らない若者や移住者等の割合が増えることで、被災者の孤立感や震災の風化等の課題があり、それらを解消していく一助となる取組としたい。
7	一般社団法人ISHINOMAKI2.0 次世代のコミュニティ担い手育成のための創造性と交流の創出事業	642,000	自分の手で何かを生み出す「創造性」や多様な「交流」は特にコミュニティの担い手となるような被災地域で生活する住民にとって重要なことであり、そういった素養を育成することは心の復興に繋がる。本事業では創造性と交流をキーワードに、ノンフィクション作家・神山典士氏が製作された作文に関するドキュメンタリー映画の鑑賞と、作文を学ぶワークショップを実施する。さらに、石巻と交流のある台湾の合唱団と石巻の若者の交流の場を持つとともに、被災者が優れた合唱を楽しんで心を癒すとともに、更なる交流の拡大を図ります。

石巻市心の復興事業 交付決定団体一覧

単位:円

番号	申請団体 事業名	交付決定額	事業概要
8	一般社団法人長面浦海人 大川地区「記憶の街」地域再生プロジェクト	700,000	住民ワークショップにより作成した4集落の模型(500分の1)を展示し「ふるさとの記憶」を語り合う。朗読会やミニコンサートなど模型を囲むイベントを開催し、復興公営住宅居住者の孤立防止を図る。被災現地での模型展示やイベントを通して世代間交流を促進し、災害や地域の記憶風化防止に努める。
9	がんばろう!石巻の会 ど根性ひまわり笑顔プロジェクト	700,000	5月から9月にかけて、ど根性ひまわり畑の水かけ、除草、種の収穫、採取、ワークショップを開催。門脇地域の方々や、石巻全域の被災された方々とともに、作業を通じて心の復興を図ります。全国各地、また、ど根性ひまわりの、栽培によって元気をもった方々とひまわりの笑顔の写真を集めた写真展を複数箇所開催し、被災された方々が笑顔で集う場を作ります。そして来年に種を広めます。
10	特定非営利活動法人にじいろクレヨン 地域の拠り所ににじいろクレヨン・プロジェクト	700,000	孤独な子育てや、復興住宅住民、シニア世帯の孤立防止を目的とし、アートや農業体験を通して、多世代が日常的に交流できる居場所を創出し、地域の大人が子どもの成長を見守り育てる役割を持つことにより、子どもが安心安全を感じ地域への愛着を循環させて、将来にわたり持続的に地域全体の発展につながる事業に取り組む。
11	一般社団法人石巻じちれん みんなで囲むまちの食卓、のぞみ野・あゆみ野地域食堂	700,000	孤立防止と多世代交流の促進の場づくりでは、地域住民が担い手となって、料理づくりを行い、食を通じた地域の交流の場を形成する。場への参加を独居高齢者や、地域の子どものなどにも声掛けを行い、孤立防止と交流を同時に行う。学びあいの促進では、食を通じた交流の場で、学びたいことを調査。地域住民(不在の場合は地域外)から講師を募り、学びあいの場づくりを行う。また、他地区での住民活動を学び、新市街地でも実践することで生きがいづくりを行う。
12	波板地区会 地域資源(海・山・石)を活かしたコミュニティ形成事業	700,000	石巻市雄勝町の東端に位置した小さな漁村集落である波板地区では、「限界集落の未来をつくる」を合言葉に、集落を訪れる若い世代を巻き込みながら、防潮堤の石貼りワークショップなど、ものづくりやイベントを通して、新しいコミュニティづくりを行ってきた。本事業では、砂浜のある美しい波板海岸や、裏山で採れる雄勝石(玄昌石)など、豊富な地域資源を活用し、周辺の地域住民や地区内/外の関係者・支援者との更なる交流促進を目指す。各々の活動をつなぎ、より持続的なコミュニティ形成を目的とし、波板地区らしい「高齢者をつくる豊かな暮らし」を実現する。
13	特定非営利活動法人放課後子どもクラブ Bremen 地域・保護者と子供をつなぐ石巻地区子ども将棋大会と将棋練習会	700,000	石巻市で、①「石巻地区子ども将棋大会」に向けた「子ども将棋練習会」の実施と、②「石巻地区子ども将棋大会」(正月)を開催する。石巻地域の子どものための将棋を通じた交流を助け、さらに世代を超えた交流の、ひいては地域のコミュニティ活性化のきっかけとなるようにする。これを被災者が運営の主体となって実行する。

石巻市心の復興事業 交付決定団体一覧

単位:円

番号	申請団体	交付決定額	事業概要
	事業名		
14	一般社団法人雄勝花物語	700,000	<p>本事業は石巻市雄勝町において「花と緑の力で」を合言葉にした被災者の交流の場づくりの継続事業である。令和4年度から新たに造成を開始した「雄勝薬草園」を拠点に以下の2点を目的に事業を行い、成果を上げている。今年度も同様の目的達成を目指し、継続した事業を行う。①被災した雄勝町の住民が主体的に「雄勝薬草園」をつくり、管理運営することで、自らの心を癒し、生きがいに繋げる。②薬草の育て方や活用を学ぶことを通じて自ら健康増進を図るとともに、住民間の交流を強化し、次世代のコミュニティの担い手を育成する。</p>
	「雄勝薬草園」を拠点にした住民交流継続事業		

交付決定14団体総額

9,897,000